

お知らせ

インフルエンザがはやっています。窓を開けますのでご協力をお願いします

冬場の風邪流行時期は、閲覧室内の空気環境をよくするため、朝の開館準備中に窓を開けて空気の入れ替えをします。

寒くなる時期ですが、風邪の予防のため、皆様のご理解、ご協力をお願いします。

閲覧室での盗難にご注意ください

貴重品を机の上に置かない

席を離れるときは荷物を持って出る ……

など、盗難被害にあわないよう、各自で注意してください。

< 図書館の動き >

アメリカのラフカディオ講演会、展示会が開催されました

松江開府 400 年祭の記念イベントとして、3 館(松江市立図書館、島根県立図書館、島根大学附属図書館)合同企画による「アメリカのラフカディオ」シンポジウムが 10 月 25 日(土)、松江市総合文化センター(プラバホール)で開催されました。同時期に実施した展示会(11 月 2 日まで)には分館からも多数の貴重なハーン関連資料を展示・公開しました。

この企画はラフカディオ・ハーンの形成期ともいえるべき、ハーンのアメリカ時代の足跡をシンポジウムと企画展示でたどろうとするものです。シンポジウムでは、熊本大学の西川盛雄先生による基調講演に続き、新進気鋭の若手研究者、北九州市立大学の R.S.ウィリアムソン先生と一橋大学大学院博士課程の中川智視先生のお二方による講演と、島根大学の長岡真吾先生の司会によるパネルディスカッションが行われました。また、ハーンの曾孫にあたる島根県立大学短期大学部の小泉凡先生により、アメリカ時代のハーンの足跡をたどる写真解説と、ハーンがアメリカにいた頃の音楽のピアノ演奏が披露されました。

会場につめかけた 100 名近い参加者は、ラフカディオ・ハーンの新たな側面を掘り下げる企画に、「今まで知らなかったハーンの新たな姿がうかがい知れて大変勉強になった」「小泉先生のピアノ演奏は心温まるものだった」と、大好評でした。

< プログラム >

基調講演「ラフカディオ・ハーンのアメリカ時代 ～クレオール俚諺集『ゴンボ・ゼーブ』のこと～」
熊本大学 西川盛雄

パネルディスカッション 司会:島根大学 長岡真吾

講演:

「弱者へのまなざし ～シンシナティのラフカディオ・ハーン～」

北九州市立大学 ロジャー・S・ウィリアムソン

「世紀末の激変のはざままで ～『オズの魔法使い』とラフカディオ・ハーン～」

一橋大学大学院博士課程 中川智視

解説と演奏

写真解説「ハーンのいた風景 ～シンシナティ・ニューオリンズ・マルティニーク～」

ピアノ演奏「ハーンが聴いたニューオリンズの音」 島根県立大学短期大学部 小泉凡

発行日 2008(平成20)年11月25日
発行者 島根大学附属図書館医学分館
編集委員 大瀧博久
〒693-8501 出雲市塩冶町 89-1
TEL:0853-20-2004
FAX:0853-20-2095